

編集後記

たった1ヶ月の間に新型コロナウイルス感染症が世界に打撃を与えています。鹿児島マラソン中止は残念ですが、感染伝播と重症化防止策を常に考え行動するフェーズに入ったと考えましょう。

誌上ギャラリーは葉桜と新緑が陽光に映える秘密の場所を橋口先生にお寄せいただきました。美に気づく心を要するという意味では今も秘のままかもしれません。

論説と話題には全国学校保健・学校医大会が「多様化する社会と子どもの成長～これからの中学校医の役割～」をメインテーマに開催されたこと、鹿児島・大分・宮崎・熊本の四医師会で病院連絡懇談会と検査センター運営協議会を開催し活発な意見交換がなされたこと、当地ならではの桜島火山爆発総合防災訓練の模様等をご報告いただきました。本会会員の皆様に関わる重要な議題が話し合われた1月の代議員懇談会の詳細は別冊でお届けしております。ご一読のほどお願い申し上げます。

トピックスは防火活動優良事業所として会員2施設が表彰されたという嬉しいニュースのご紹介です。普段の防火意識が大事ですね。医療トピックスは末梢性神経障害性疼痛治療剤2種の比較紹介です。適応の違いや用量に注意してお使いください。

学術には医療センター婦人科から後期高齢子宮体癌31例の検討をいただきました。身体・生理・社会的因子の多様性を考慮し標準治療を工夫変更していくことが必要との考察です。外科医会秋季例会からはもう1題、直腸間膜内に前立腺癌よりリンパ節転移を来た直腸癌の1切除例という稀な症例をご報告いただいている。内科医会例会からは慶應義塾大学佐野教授のご講演「循環器内科から見た糖尿病患者におけるCKD予後に関する考察」をご紹介いただきました。SGLT2阻害薬が腎臓を保護し心不全の予防効果を持つ点について述べられています。

医師会病院だよりは外科のご案内です。消化器外科手術のほぼ全領域で鏡視下手術が用いられているとのこと。引き続き患者ご紹介の程よろしくお願ひ致します。

随筆・その他は薬草を図柄にしたベトナム切手5種が目をひく古庄先生の「切手が語る医学」、武元先生の貧血症例と治療対策、小田原先生の医療事故調査制度報告件数に関わる検討と興味深い連載を今号にも頂戴いたしました。納先生には甲南保健クラブの「甲突川健康宣言」から地球調和への哲学的な隨想をいただきました。リレー随筆では県立大島病院から大学に戻られる児島先生が趣味のサッカーについて語ってくださいました。先生方、ご寄稿ありがとうございます。

区・支部、各種部会だよりは荒田支部会のフードロス対策(?)、内科医会1月例会、産婦人科医会研修会、在宅医会事例検討会、女性医師部会総会・研修会のご報告です。学術欄の内科医会講演内容と合わせてお読みください。

各種報告は理事会議事録、各委員会・区長会・市介護保険課との打合せ会・学校保健フォーラム・医療三師会の開催概要、市民健康まつりの模様、小児生活習慣病予防検診成績についてのご報告です。附属施設の実績、および新入会員紹介等当会の動きもご覧ください。

1月に逝去された猪鹿倉 武先生を偲ぶ会長からの弔辞が掲載されております。ご冥福をお祈り致します。

情景が浮かぶ投句とひねった選評が伝統の鹿市医郷壇は今回「嬉しい」という明るいお題で読んでいて楽しくなります。かごま弁に自信のない方も是非ご投稿を！

今年の桜はいつ頃開花するでしょうか。新生活・進学への期待を胸に羽ばたく人々にもウイルス感染終息を待つ世界にも春の訪れが遠からぬことを切に願います。

(編集委員 関根さおり)